

なかつ安心・元気・未来プラン 2017

～ みんなでつくる暮らし満足 No.1 ～

2022 改訂版



なかつ安心・元気・未来プラン 2017 2022 改訂版



中津市



みんなでつくる暮らし満足No.1のまちを目指して

策定から5年が経過した第五次中津市総合計画「なかつ安心・元気・未来プラン 2017」について、計画の中間年となることからこれまでの取組みの総括と評価を踏まえ、改訂を行いました。

この計画は、中長期的な市の施策の方針・方向性を定めた、将来のまちづくりの道標となるものです。昨今、国内外の諸情勢が目まぐるしく変化し、さらに、思いもかけない新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、社会・経済、そして私たちの生活や価値観も、大きな変化を余儀なくされました。このような時代の潮流を捉え、計画後期の5年間、さらにはその先の未来に向けた見直しを行っています。



全国的に少子高齢化・人口減少は、一層進むことが見込まれます。さらに、新たな感染症への対応や、自然災害の頻発・激甚化への備え、老朽化する社会公共インフラの維持、社会保障関係費の増加などに対応していくために、持続可能な財政運営が求められています。

そうした中、中津市においては、本計画と中津市行財政改革5カ年計画「行政サービス高度化プラン」、「中津市公共施設管理プラン」の3つのプランを市政の基軸として、持続可能な財政基盤の確立と施策の展開を図っています。人口の減少を最小限に抑えつつ、地域の元気やそこに暮らす人たちの「暮らし」を支えるため、少子化対策・子育て支援を充実するとともに、企業誘致などによりしっかりとした経済基盤が確立され、さらに、質の高い教育による新たな時代に対応し得る人材の育成、郷土愛の醸成等により、人や企業を惹きつける魅力・磁力を強めてきました。これからも、豊かな自然環境や歴史文化、北部九州の循環型交通ネットワークにおける拠点性など、中津市の持つポテンシャルを最大限に活かし、まちとしての魅力・磁力を一層強め、地域の元気やそこに暮らす人たちの「暮らし満足No.1」を目指していきます。

市民の皆様をはじめ市内の団体、事業者の皆様など、施策の実行に関わる多くの方々の連携と、力の結集により、みんなで“暮らし満足No.1のまち「中津」”をつくっていきましょう。

令和4年3月

中津市長 奥塚 正典

【目次】

◆序文

1. 計画改訂の趣旨	2
2. 計画の性格と役割	2
3. 計画の構成と期間	2

◆基本構想

1. 今の時代に求められていること	6
2. 将来都市像	8
3. 基本目標	9
4. まちづくりの理念	9
5. 将来人口と土地利用	10
6. 施策の大綱	11

◆基本計画

I. 安心づくり

1. 医療・保健の充実	16
2. 高齢者福祉と活躍の場づくり	31
3. 子ども・子育て支援の充実	38
4. 障がい者の自立支援	44
5. 地域コミュニティの活性化	47
6. 災害に強い安全なまちづくり	51
7. 安心して暮らせるまちづくり	57

II. 元気づくり

1. 企業誘致と地場企業の育成 …… 68
2. 一次産業振興・六次産業化 …… 74
3. 山国川上下流域を結ぶ観光振興 …… 84
4. 移住促進 …… 87
5. まちのにぎわいづくり …… 89
6. 文化・スポーツの振興 …… 94

III. 未来づくり

1. 学びたい教育のまちづくり …… 102
2. 生涯学習・産業教育の推進 …… 111
3. 環境の保全 …… 117
4. インフラ整備・維持 …… 127

IV. 計画の推進にあたって(参加・連携・結集)

1. 市民との対話 …… 142
2. あらゆる主体との連携 …… 145

付属資料

1. 人口推移資料 …… 148
2. SDGs との関連表 …… 150